

工業麻賀滋

軽い麻わたを使った 夏用ふとんを販売

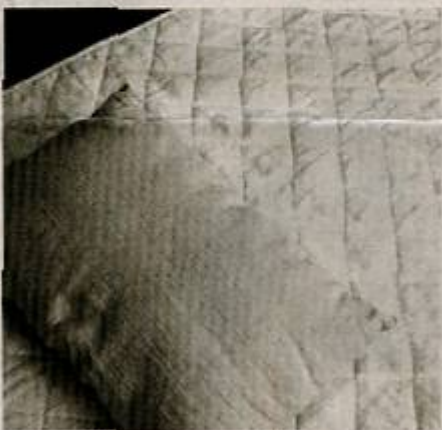
滋賀麻工業（滋賀県愛知郡、山田清史社長）

は、ソフトで軽い麻わたを開発した。吸放質性に優れた特性を生かして夏用の麻ふとんを作り、販売を開始した。

開発した麻わたは麻繊維に特殊なアルカリ加工処理を施してクリンブ

（ランダムな収縮）形状

を表現し、ソフトさも加味した。ポリエステルわたや綿わたより水分を吸い、放質する能力（吸放質性）がはるかに高く、さらっとした触感が得られ、涼しさを感じる。汗をかきやすい夏場の寝具品などの中わたに最適



開発した麻わたを使用した敷パッド

で、抗菌加工も施した。同社は開発した麻わた

を生かして、かけふとん、敷ふとん、敷パッドなどの寝具製品を開発、「あ・やらの」として今夏物から販売を開始した。小売価格は、側生地も麻100%で2400円中心。